

2020年度事業計画

(2020年4月1日から2021年3月31日)

1 学術研究会、学術講演会の開催

(1) 第61回日本神経学会学術大会を下記のとおり開催する。新型コロナウイルスの感染拡大を防止するため、WEBシステムも積極的に利用する。

- ・大会長 阿部康二 岡山大学医学部脳神経内科学 教授
- ・会 期 2020年8月31日(月)から9月2日(水)までの3日間
- ・場 所 岡山コンベンションセンター 他

(2) 学術大会運営について

- ① 第65回学術大会大会長を選出する。
- ② 第62回学術大会の準備を進める。

- ・大会長 高橋良輔 京都大学大学院医学系研究科臨床神経学教授
- 副大会長 山田正仁 金沢大学大学院医薬保健学総合研究科脳老化・神経病態学(脳神経内科学)教授))

(3) 地方会開催

各地方会を次のように開催する。地方会についても、新型コロナウイルスの感染拡大防止のためWEB利用による開催も検討する。

北海道地方会(2回)、東北地方会(2回)、関東・甲信越地方会(4回)、東海・北陸地方会(3回)、近畿地方会(3回)、中国・四国地方会(2回)、九州地方会(4回)

2 学会誌の発行

(1) 臨床神経学の発行

機関誌「臨床神経学」60巻4号～61巻3号の全てを通常号発行する。また、学術大会抄録はサプリメントとして発行する。いずれも電子ジャーナルである。

(2) 英文機関誌の発行

英文機関誌「Neurology and Clinical Neuroscience」(Volume 8, Issue 3～Volume 9, Issue 2)を、隔月ごとに電子ジャーナルで発行する。

(3) 診療ガイドライン作成

- ① 筋強直性ジストロフィー診療ガイドラインを出版する。
- ② 重症筋無力症診療ガイドライン2014、慢性炎症性脱髄性多発根ニューロパチー、多巣性運動ニューロパチー診療ガイドライン2013、ギラン・バレー症候群、フィッシャー症候群診療ガイドライン2013、慢性頭痛診療ガイドライン2013および筋萎縮性側索硬化症診療ガイドライン2013の改訂版作成を進める。
- ③ 2017年度に出版した認知症診療ガイドライン2017およびてんかん診療ガイドライン2018の英文版の作成を引き続き進める。両ガイドラインの英文版は、学会ホームページで公表する計画である。

3 啓発活動

(1) 広報活動

- ① 会員向けのニュースレターを発行する（第6号）。
- ② 企業が主催するレジナビフェアに東京、大阪の2カ所で参加し、医学生、研修医などへの脳神経内科の広報に努める。
- ③ 医学生・研修医等若手会員向けホームページの制作を引き続き進める。2020年度に公開する予定である。
- ④ 本学会認定施設で行われる神経内科を紹介する説明会やセミナー等の企画を、本学会ホームページで紹介する事業を引き続き行う。

(2) 医学生を対象とした学術大会への参加支援について

医学生を対象とした学術大会への参加支援（交通費補助）を、引き続き学会が主催にて行う。

(3) 神経内科フォーラムの活動支援

昨年度に引き続き、神経内科フォーラムが企画・実施する脳神経内科と神経疾患を広報する活動を支援する。

4 研究奨励

日本神経学会賞を選考する。

5 研究推進

(1) 将来構想の検討

将来構想委員会を中心に、「神経疾患克服に向けた研究推進の提言」の見直しなど、本学会での研究活動に関する将来構想についての検討を進める。

(2) 産官学連携について

産官学連携による若手創薬研修会第3回「神経疾患に対する創薬トランスレーショナルリサーチを学ぶ」を開催する。

(3) 他団体との連携協力

神経内科学・脳科学に関する研究を推進するために、日本学術会議、日本医学会、日本脳科学関連学会連合、そして関連する他学会等と連携・協力する。

6 専門医及び教育施設の認定

(1) 専門医

- ① 第46回専門医試験を次の予定で実施する。
 - ・第1次試験 2020年11月8日（日）（日本都市センター会館）
 - ・第2次試験 2020年12月19日（土）（TKP品川カンファレンスセンター新館）

- ② 第26回専門医認定更新を実施する。

(2) 教育施設

① 施設認定更新

2021年4月1日から認定する施設認定について、認定手続き(新規及び更新)を実施する。

② 指導医認定

2021年4月1日から認定する指導医認定を実施する。また、2021年3月31日で認定期間が満了となる指導医の認定更新を実施する。

(3) 専門医制度

- ① 新専門医制度に基づく脳神経内科領域における専門医育成のための研修を支援する。

- ② 神経内科専門医の基本領域化については、会員に向けた周知活動と引き続き日本専門医機構、日本内科学会など関係機関の理解を得るための活動を行う。

7 会員を対象とした教育及び啓発活動

(1) 生涯教育講演会

- ① 第61回学術大会時に第17回生涯教育セミナー(レクチャー)を開催する。

- ② 以下の支部で生涯教育講演会を開催する。

北海道支部、東北支部、関東・甲信越支部、東海・北陸支部、近畿支部、中国・四国支部、九州・沖縄支部。

近畿支部においては、延期した2019年度事業も併せて実施する。

(2) 専門医育成教育事業

- ① 第61回学術大会時に、第15回専門医育成教育セミナーを開催する。

- ② 2020年12月13日(日)に千葉県船橋会場で第16回専門医育成教育セミナーを開催する。

- (3) 特別教育研修会脳卒中コース(第3回)を、2020年9月20日(日)大阪府・吹田市・国立循環器病研究センターを会場にして実施する。

(4) 教育コンテンツ配信事業

- ① GSK 教育事業助成制度の資金をもとに、教育コンテンツ作成を進める。また、画像システムおよびeラーニングシステムの本格運用を開始する。

- ② 新型コロナウイルスの感染拡大により支障が生じている大学における医学教育に協力するため、主として医学生ならびに研修医を対象に本学会のeラーニングシステム利用を認める。

(5) Excellent Teacher 表彰事業の実施

学会主催の教育セミナーの講師や教育用動画制作で教育活動に貢献した会員を表彰する。

(6) 会員の研修支援事業の実施

会員の国内及び海外での研修を支援する事業を実施する。

(7) 学術大会時の教育プログラムについて

第62回学術大会時の教育プログラムを検討する。

8 診療向上のための活動

(1) 診療報酬改訂への取り組み

- ① 2022年度診療報酬改訂に向けた準備を行う。
- ② 脳神経内科領域における遠隔医療診断の保険診療化に向けた検討を行う。
- ③ DPC/PSPS の不合理な分岐の是正に対する活動を行う。

(2) 新薬承認審査の促進等に関する要望活動

神経疾患患者に対する医療の質の向上を図る一環として、公知申請など未承認薬、新薬承認審査の促進に関する要望活動を積極的に行う。

(3) 小児一成人移行期医療にかかわる提言のとりまとめ

関係学会と協力して、小児一成人移行期医療にかかわる課題を整理し、その対応策についてとりまとめ、提言する。

9 国際協力

(1) アウトリーチ型海外教育事業

ASEAN Neurological Association (ASNA)との連携を深めるべく、日本神経学会派遣医師4名がブルネイを訪問し、現地神経学会と合同で2日間にわたるハンズオンセミナーを行う(11月開催予定)

(2) EANF への代表者および演者派遣

台北で開催予定の EANF シンポジウムにシニア2名・若手2名を派遣する。

(3) 優秀演題発表者の AOCN 派遣事業

第61回学術大会での優秀演題20題を選び、2021年4月に台北で開催予定の AOCN への参加費用を補助する。

10 その他の事業

(1) 災害時医療支援の充実

災害対策マニュアルの問題点と解決策について協議するため、各都道府県の神経難病ネットワーク長、神経難病リエゾンとの連絡協議会を開催する。

(2) キャリア形成促進事業

脳神経内科医の燃え尽き症候群に関する実態把握のため2019年度に実施したアンケート結果をまとめ、それに対する対策案を含めて、学術大会や論文等で公表する予定である。

(3) 新型コロナウイルス感染防止対策について

新型コロナウイルスの感染防止に必要な措置を講ずる。主な措置は次のとおりである。

- ① 学術大会、地方会、教育事業、広報活動などの学会活動について、その実施に当たって感染防止対策をとることや、感染状況によって臨機~~応~~**変**に見直しを行う。
- ② 学会ホームページや電子メールを活用して、脳神経内科医が診療する患者様の感染防止や、感染した際の診療などの情報を、学会員に継続して提供する。
- ③ 社員総会、理事会、各種委員会など学会運営に必要な諸会議は、適宜 WEB システムを利用して開催する。
- ④ 大学における医学教育に協力するため、主として医学生を対象に本学会の e-ラーニングシステム利用を認める。(再掲)

1.1 一般社団法人としての運営

(1) 役職員選出のあり方に関する検討

2021年からの実施を目標に、代議員選出方法の見直しを行う。

(2) 代議員選挙

新たな代議員選出方法により、2021年の学術大会終了後から任期が始まる代議員選出のための選挙、および総会選出代議員の選出を行う。

(3) 日本医学会および日本医学会連合との連携

日本医学会と日本医学会連合の活動に協力し連携を進める。